

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 557 事業名 下水道財産管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		下水道費	
	目		下水道総務費	
	大事業		下水道総務事業	
	事項		下水道管理	
「3つのキーワード」との関連性				
いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず	
○				

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	1	総合防災対策の充実
施策	1	災害に強いまちづくりの推進
取組		

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		~
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	下水道管理課	木村 芳裕(435-1096)
関連課		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	下水道財産の適正な管理を行う。	行政財産及び河川等占有使用申請に伴う許可書の発行 排水施設の寄附申請に伴う採納決定通知書の発行 開発行為により設置される排水施設の管理協定書の締結				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		行政財産及び河川等占有使用許可及び排水施設の寄附採納並びに開発行為により設置される排水施設の管理協定の締結	行政財産及び河川等占有使用許可及び排水施設の寄附採納並びに開発行為により設置される排水施設の管理協定の締結	行政財産及び河川等占有使用許可及び排水施設の寄附採納並びに開発行為により設置される排水施設の管理協定の締結	行政財産及び河川等占有使用許可及び排水施設の寄附採納並びに開発行為により設置される排水施設の管理協定の締結	行政財産及び河川等占有使用許可及び排水施設の寄附採納並びに開発行為により設置される排水施設の管理協定の締結

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	3,016	2,190	2,901	2,780	2,908	955	2,845	1,515	1,556	
伸び率 (%)	-	-	-3.8%		0.2%		-2.2%		-45.3%	
人件費	常勤職員	23,408	24,189	24,886	24,886	14,300	14,300	13,867	13,867	3,013
	非常勤職員	5,362	5,838	7,356	3,630	3,630	6,550	3,013	3,013	
	小計	23,408	32,217	31,545	28,516	28,516	20,850	16,880	16,880	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	1,275	1,758	1,616	1,868	1,856	3,029	1,837	2,948	1,770	
一般財源 (税等)	1,741	432	1,285	912	1,052	-2,074	1,008	-1,433	-214	
所要人数	常勤職員	3	3.16	3.16	3.3	3.3	1.89	1.89	1.87	1.87
	非常勤職員	1.68	1.7	2.44	1.44	1.44	1.6	1.43	1.43	
主な予算内訳	機械等保守委託料 722千円		消耗品費 466千円							

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	河川等占有使用申請受付件数	年度目標値			153	156	155	165	160
		実績値			156	155	165	160	
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	102.0%	99.4%	106.5%	97.0%	
	成果指標	排水施設の寄附採納件数	年度目標値			40	42	28	40
実績値					42	28	40	46	
単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	105.0%	66.7%	142.9%	115.0%	
成果指標		排水施設の寄附採納件数	年度目標値			10	16	10	20
	実績値				16	10	20	30	
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	160.0%	62.5%	200.0%	150.0%	
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>開発行為により設置された排水施設について、開発事業者の管理に属している施設であっても、事業者が倒産等により管理能力がなくなった場合は、「開発道路等の適正管理検討部会」で検討した後、可能な限り管理の引継ぎを行うとの方針があるため。</p>
<p>「見直し」「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載</p>	<p>上記のように、開発行為による排水施設の管理の引継ぎを行った場合、その多くが老朽化した施設であることが見込まれるため、コスト投入の拡大は避けられない。</p>